

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2023年12月 1日

事業所名: Growingつばめ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じたスペースは十手分確保している。	はい 15 どちらともいえない 1	現状を維持する。
	2 職員の適切な配置	利用者2~3名につきスタッフ1名の配置を確保している。	はい 13 どちらとも3 職員数を増やして欲しい	有資格者で構成できている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	専門家も入ってもらい、環境の整備に努めている。	はい13 どちらとも4	今後も必要に応じて環境の整備を図っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日スペースの掃除・消毒を実施している。		今後ものびのび育つ環境を作っていきたい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	主任等と管理者、理事者が協議したことを、月に一度の職員会議などに図っている。共通理解の確立。		組織的なPDCAサイクルの確立を図る。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価は現時点では実施なし。		今後、実施に向けて検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員会議後、毎月一回実施している。		今後ものびのび育つ環境を作っていきたい。計画的に実施していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	モニタリング時などに保護者面談を実施し、職員間で協議し支援計画の充実に務めている。		主にモニタリングごとに支援計画を充実させ、職員への共通理解を図っていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	領域別に必要な項目を設定し、定期的に評価している。	保護者の話を聞いて計画書が作られ、それを元に作成されている	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個人ファイルにして整理。職員会議や打ち合わせで支援の細目など確認している。低学年・高学年にスタッフをほぼ固定している。		サービスの質の向上に努力する。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画書沿った支援を実施している。		今後も充実していく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	月に一度の職員会議で支援の在り方・問題点等検証し、支援の改善に努めている。		さらに研究していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休業中に外出支援、給食を実施し状況に応じた支援をしている。	はい14 どちらとも3	今後とも充実していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節感を感じる行事を積極的に導入している。集団の中での自己改善をめざすよう支援を研究している。		今後とも充実していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に職員への連絡事項や分担の確認を実施をしている。		今後とも工夫を重ねて実施する。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	会議などの記録を自由に閲覧できるようにしている。連絡帳で保護者との情報交換もできている。		今後とも工夫をしていく。
	10 日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別活動記録にて徹底している。重要事項は職員会議で共有している。		さらに研究し充実していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	10月と3月に実施。支援計画の点検と見直しを実施している。		今後も工夫し実施していく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	管理者が相談支援事業所と連絡をとり、情報の共有をしている。	依頼があったときは積極的に参加する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて、ケース会議やきょうき・情報交換を行っている。	今後も必要に応じて積極的参加、呼びかけをす。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	これまで実績はない。	家族と相談の上、状況提供を必要に応じて実施していく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関との連携はできている。	今後も連携を深めていく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	個人的な好意による交流活動をしている。	はい3 どちらとも9 いいえ4

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	とりくめていない。		今後開かれた事業所として取り組む。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要説明書に記載、機会をみて理念等ともに説明している。	はい12 どちらとも1	工夫して理解を得ていく努力をする。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談、「お知らせ」などを通じて丁寧な説明を心掛けている。		今後とも工夫して実施していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	集団での研修はないが、送迎時、面談時や行事を通じて支援内容や保護者の理解が深まるよう努力している。		
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や事業所内相談などで、共通理解を深めている。		毎月第4金曜日午前
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	モニタリング時の面談だけでなく、毎月相談日を設けて実施している。		相談日としている。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援			
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応			
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信		毎月Growingだより発行	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	実施する	取り扱い注意表示を表示	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底		モニタリング時に説明	
	2	必要性のある場合		9/1に避難訓練を予定している。	
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応		職員会議時に研修	
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	必要とする子供の利用がない。		必要性のある場合保護者とのコンセンサ
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応			適切に対応している。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底			職員会議で共有再発防止策を検討

